

平松のウツクシマツのある美松山の麓に鎮座する松尾神社には、ウツクシマツにまつわる次のような伝説が残されている。

千年も前のこと・・・

平安時代初期の文徳天皇の頃、体調を崩した京都の藤原頼平という公家が養生のため、平松の山麓に家を見て静養の日々を過ごしていました。

ある暖かい春の日、何気なしに松林のある山に目をやると、そこからとても美しい娘たちが現れ、自分たちは京の松尾大明神（松尾大社）に仕えるもので、あなた様をお護りしようと大明神様から命を受け、その仰せに従い参上いたしましたと言うのです。

それから娘たちは美しい声で歌い舞い踊り、松の間を戯れるのでした。

ふと気づくと娘たちの姿は無く、目の前の松がすべて見た事のないような美しい姿に変わっており、感嘆した頼平は筆をとり文徳天皇に事の次第を伝え、朝廷から大納言が勅使として頼平の元へ下向し、松の木々を目にした大納言は、その美しさに「美し松」と名前を付けました。

その後、体調が回復して京都へ戻った頼平は、早速松尾大社へ参拝し分霊を戴いて平松の地へ帰り、そこへ松尾神社を創建したといわれています。

平松の地名は頼平の「平」と松尾大社の「松」からきたものと伝えられ、ウツクシマツは松尾神社の神木になっています。



ウツクシマツ自生地の歴史とこれから

- 大正8年(1919年)・・・名勝天然記念物調査会による調査が実施される
- 大正10年(1921年)3月3日・・・当時の村名である三雲村を冠した「三雲村美松自生地」の名称で国の天然記念物に指定される
- 昭和32年(1957年)7月31日・・・今日の指定名である「平松のウツクシマツ自生地」へ名称が変更される
- 昭和39年(1964年)・・・標識、境界標、人止柵が設置される
- 昭和53年(1978年)頃～・・・松枯れ被害が拡大、多くの松が枯死する
- 昭和54年(1979年)頃～・・・保護増殖事業が始まる
- 昭和56年(1981年)10月14日・・・昭和天皇が行幸される
- 令和3年(2021年)3月1日・・・シンボルツリーとして親しまれていた松が枯死のため伐採される
- 令和3年(2021年)3月8日・・・地元有志や園芸業者らにより、若木約30本が自生地範囲外周辺に植樹される
- 令和3年(2021年)～・・・文化庁認定の「平松のウツクシマツ自生地の保存活用計画」に基づいた保全事業を開始する

ウツクシマツは松尾神社の御神木として大切に守られ、継承されてきました。

今後もウツクシマツ自生地を文化財、観光資産として残していくため保護に取り組んでいきます。



Google Map ▶



車

- ◇栗東湖南ICから約15分
- ◇竜王ICから約20分
- ◇甲賀土山ICから約35分

電車

最寄駅 JR草津線「甲西駅」

- JR京都駅から約40分
- JR草津駅から約15分
- JR柘植駅から約30分

徒歩

JR甲西駅から徒歩約20分



初代シンボルツリーの伐採



メモリアルオブジェ



行幸記念碑



歌川広重 作「隷書東海道」

<発行>一般社団法人湖南市観光協会 TEL0748-71-2157
滋賀県湖南市岩根4580 イオンタウン湖南内

<保護に関する問合せ> TEL 0748-69-5603
湖南市環境経済部農林振興課 ウツクシマツ・林業係

国指定の天然記念物

平松のウツクシマツ自生地

日本で唯一「ウツクシマツが自生(群生)し、天然更新している」
場所として、国の天然記念物に指定されています。

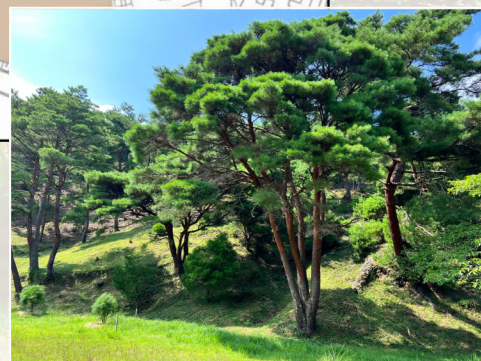
ウツクシマツとは、アカマツの一品種で、根元の少し上部から複数の枝幹をほうき状に出し、美しい傘状樹形になるのが特徴です。樹形には同じ傘型でも変異があり、様々な樹形をウツクシマツ自生地内で見ることができます。



植樹された若木(左下)と2代目シンボルツリー(右)▶

【樹形4タイプ】

1. 扇型（上方山形） 根元から約1.5～2メートル付近で複数の幹に分岐し扇状になり、樹冠上部が山形になっているもの。
2. 扇型（上方やや円形） 1.と同型で樹冠上部が丸みがかかったもの。
3. 傘型（多形型） 地表付近から幹が多数分岐し、樹冠が傘状に広がったもの。
4. ホウキ型 幹の分岐は3.と同じであるが、樹冠の広がり狭いため全体的に箒状に見えるもの。



観察してみよう

鑑賞時の注意事項



国の天然記念物「平松のウツクシマツ自生地」に指定されているのは、図の赤枠で囲んだ約1.9ヘクタールの範囲です。この範囲には様々な樹形のウツクシマツが自生しています。観賞される方は、下記のことを必ず守ってください。

- 鑑賞は、遊歩道またはグラウンドからお願いします
- 遊歩道以外のウツクシマツ自生地内（赤枠内）には絶対に立ち入らないでください
- マツを含めた木・松ぼっくり等には絶対に触れないでください

環境保護のため、またこの自然を後世に残していくためにご理解のほどお願い申し上げます。